

# 【ユニリハ】ものづくりシーティングセミナー

## 原理編

クッションの素材に触れて、構造を知る事から始めて、回復段階やADLに合わせたシーティングを行ない、業者やメーカーのクッションの作り方を学ぶ。

人の姿勢は運動の連続です。生活シーンに合わせて姿勢を変化させています。回復段階もそのひとつです。急性期、回復期、維持期で訓練効果により収縮筋が変わったり、廃用が進むと拘縮のある関節も出てきます。このようなひとつではない身体状況に対応する、世界中のシーティング・フィッティングを用いた技術を身につけましょう。

日時 2018年5月24日(木) 18:45~21:30

- ・ 会場 府中市市民会館 ルミエール府中
- ・ (東京都府中市府中町2-24)

受講料 7000円

- ・ 申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/regist?id=60807>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会  
TEL/FAX 042-208-0102  
E-mail [otmode@jcom.home.ne.jp](mailto:otmode@jcom.home.ne.jp)  
URL <http://universalreha.com/>

### ～研究から生まれたシーティング技術～

#### ー原理編ー

シーティングやフィッティングシートの作り方を学習し、姿勢や座位保持のイメージをつくる

■世界中にあるシーティングへの考え方（ドイツ、アメリカ、フランス、スウェーデン、日本）を知ろう。

姿勢保持を行なっているのは日本だけではない。

■自分自身の骨盤と体幹の重心の位置を探し、確認する。  
そこが座位保持のポイント。

■姿勢のイメージをつくろう。イメージから図面が生まれる。

■クッションを作るための身体採型（採寸）。評価のポイント、測定のポイントと記入方法

■座面のクッションの造り方、図面の見方

■背面のクッションを造り方、図面の見方



セラピスト  
が  
クッション  
を作る